

令和5年舞鶴市議会12月定例会

一般質問資料

[山本 治兵衛 議員]

4) 令和4年度指定管理者の年度評価について 資料①

(様式第7号)

令和4年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市西市民プラザ		
指定管理者	特定非営利活動法人まちづくりサポートクラブ		
設置目的	市民、団体の多様な交流と市民活動等による社会参加の促進を図り、もって魅力ある地域社会の発展に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	市民文化環境部人権啓発・地域づくり室地域づくり支援課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度
利用者数(人)	82,340	48,628	52,693	55,258	
利用料金(円)	6,954,675	4,481,410	4,242,990	4,644,142	
指定管理料(円)	25,870,000	28,057,000	25,870,000	28,885,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	年間10万人以上	10万人	55,258人	55%
平均稼働率	年間25%以上	25%	24.4%	98%
自主事業の実施件数	年間24件以上	100回	95回	95%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,644,142	人件費	19,252,856
指定管理料	28,885,000	維持管理費	15,978,625
事業収入	844,085	事業費	0
その他	358,060	その他	0
合計	34,731,287	合計	35,231,481
差額			△500,194

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	各項目とも目標を下回っている。コロナ禍の影響で、イベント等が少ないこともあり、定期利用者が中心の利用であった。利用促進が難しい状況が続いておりやむを得ない。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	田辺城まつりや夜の市といった施設を会場とする大きなイベントが全て中止となり、商店街イベント等の地域活動もコロナ禍の影響による自粛が続いた中で、他団体と連携したふれあい広場の飾りつけ等、来館者増加事業にも取り組まれた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	コロナ禍の影響による制約の中ではあったが、子育て支援事業や、FMまいづるとの共催事業に取り組む等、ネットワークの強化を図り、行政や企業、地域団体、地域人材の中間支援に取り組む努力をされている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	コロナ禍の影響による制約がある中、計画を見直しながら例年に近い自主事業を実施された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	コロナ禍の影響が続き、利用者数は令和3年度に比べ増加したが、コロナ禍前と比べると少ない。利用率は令和3年度と比べ増加している。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	利用者へのアンケートでは、概ね満足されている旨の結果が得られている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	利用者の意見・要望・苦情などを窓口や電話等で把握し、職員間で共有され、適切な対応をされている。

4) 令和4年度指定管理者の年度評価について 資料②

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	十分に対応はされていると考える。ただ、駐車場不足や備品の老朽化等、指定管理者だけではすぐに解決できない問題がある。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	今般の電気料金高騰の影響は大きい。LED化の推進、利用者にも使用後の消灯徹底等節電を呼び掛けるなど経費削減に努力している。コロナ禍で利用料金収入が増えない中、経費の節減に取り組まれた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	数社から見積もりを入手し業者を選定する等取り組まれている。
収入増加のための取組が行われたか	△	自主事業の継続実施により収入増加の取組をされている。新たなイベント等の企画検討がされていたが、ほとんど実施には繋がらなかった。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	業務に応じた適切な人員配置が行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	△	定期的に職員研修を行う等、職員能力の向上に努めている(令和4年度はコロナ禍のため実施されず)。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	△	経費節減に努められたが、収入が思うように増加せず、マイナス収支となった。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	想定される災害等に対しマニュアルを作成しているほか、年2回防災訓練を実施されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上		令和2年度以降、コロナ禍の影響がある中での運営が続いているが、適切な感染対策を取りながら利用者目線に立った運営がされている。季節ごとにふれあい広場をデコレーションされる等、市民が立ち寄る雰囲気作りに努めている。課題の駐車場については、周辺の違法駐車対策にも気を配り努力している。職員の服装や接客態度も良好である。
経費削減		電気料金高騰の中、これまでも増してこまめな消灯や外部照明のLED化等による節電やDIY等により経費の削減を行っている。
施設の維持・管理		施設は常日頃から清掃等行き届いておりとても清潔に保たれている。老朽化により空調等施設の不具合が発生しているが、問題個所の発見に努め、市と連絡を取り合っている。簡易な修繕は、DIYで職員が実施している。

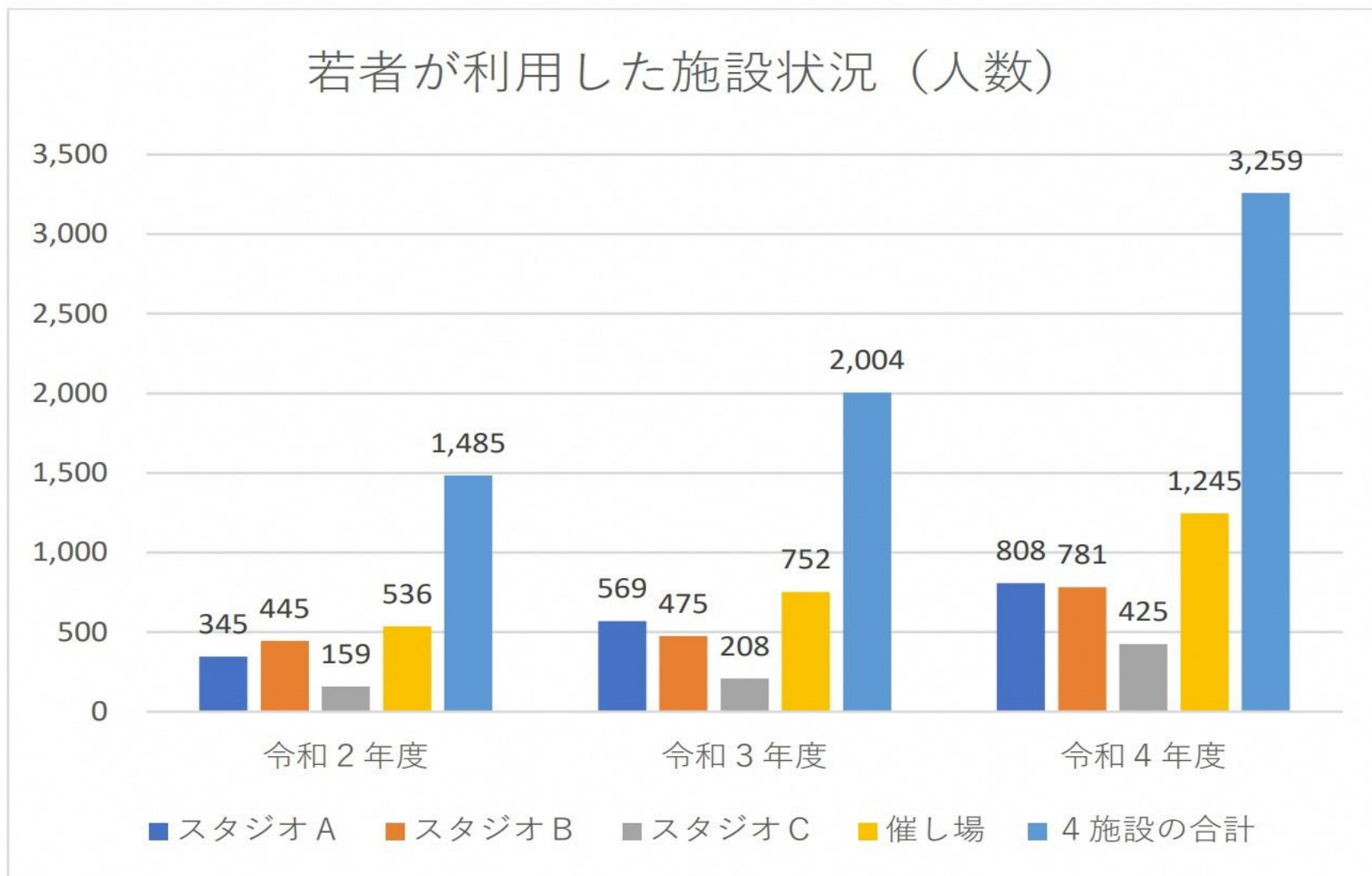
6 選定委員会による評価

評価点	2.66点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5:良い、4:やや良い、3:普通、2:やや悪い、1:悪い
総評	<p>自主事業の実施状況は評価する。利用人数が回復している。夜間の違法駐車があまり改善されていないように思われる。駐車場がないなどの問題もあるが、他のイベントと日時を合わせ、西市民プラザも利用してもらうなどの工夫をしてはどうか。西市民プラザの特性(スタジオ、親子の広場、真名井の清水等)を生かした事業等を作っていく努力をしてほしい。職員の研修に力を注いでほしい。利用者の要望等は、できるものから計画を立てて対応してほしい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	令和2年度	令和3年度	年度	平均
3.33点	3.16点	2.8点		3.09点

4) 令和4年度指定管理者の年度評価について 資料③



4) 令和4年度指定管理者の年度評価について 資料④

資料

目指す地域の将来像と西市民プラザの基本的ビジョン

